

# 「21世紀の国家戦略と私たちの社会」

この講座は、20世紀の時代を振り返り、そこからどのような教訓を学び、それを私たちの時代にいかしに咀嚼して次の時代に託するか、をテーマとしている。つまり私たちのこの社会を過去(20世紀)と未来(22世紀)のつなぎと見ての分析である。特に過去の戦争が、現在いかなる形に容れられ、それを私たちは未来にどう繋げようとしているかを詳細に検証したい。

講師



ほさか まさやす  
保阪 正康

ノンフィクション作家  
評論家  
日本近現代史研究者

1939年札幌市生まれ。1963年同志社大学文学部社会学科卒。1972年「死なう団事件」で作家デビュー。2004年個人誌「昭和史講座」の刊行をはじめ一連の昭和史研究により菊池寛賞受賞。2017年「ナショナリズムの昭和」で和辻哲郎文化賞を受賞。近現代史の実証的研究を続け、これまで約4000人の人々に聞き書き取材を行っている。立教大学社会学部兼任講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを歴任。現在、朝日新聞書評委員などを務める。近著「昭和史の核心」(PHP研究所/2022) 『Nの廻廊 ある友をめぐるきれぎれの回想』(講談社/2023) 文藝春秋で「日本の地下水脈」連載中。ラジオ出演 月曜「NHKラジオ・アーカイブス ～声をつづる昭和人物史」

## 1回 5/12 金 「21世紀はどのような時代なのか」

今、私たちが生きているこの社会はどのような特徴を持っているのか。初めにそのことを分析していきたい。あえて三つに絞って考えてみることにしたい。「戦争論の変化」「人口少子化」、そして「科学技術の進歩」。ここに共通するのはヒューマンズ論が様変わりしかねない状況である。私たちの価値基準を改めて問い直したい。

## 2回 6/16 金 「各国はどういう戦略で動くのか」

今世紀にアメリカを中心とする西欧列強はどのような国家目標を持つのだろうか。そして資本主義の発展はどのような形を取るのだろうか。ロシアは、中国は、さらにEU諸国はどのような国家づくりを目指すのか、それぞれの国別の国家戦略を考えてみたいと思う。人類史の方向を現実的に考えてみることで、新しい視座を確かめたい。

## 3回 7/21 金 「日本社会の基本的戦略とは何か」

日本社会は各国の国家戦略の元で、どのような道を選ぶのであろうか。日本独自に国家像を選ぶべきだと思うが、そのような像は今のところ生み出されていない。結局、日本はアメリカや中国の国家像に振り回されるのだろうか、その主体性のなさは極めてフアンティックなナショナリズムに傾斜する可能性もある。注意しなければならない。

## 4回 8/4 金 「私たちの生活環境はどう変化するのか」

私たちは今の日本社会の姿がどう変化するかを考えることはあまりない。相応に充足感を持っているからであろう。しかしこの社会は多くの不安材料を抱え込んでいる。その最大の問題点は、軍事を克服する論理や感性が十分に血肉化していないということではないだろうか。改めて私たちの生活環境を見直す必要がある。

## 5回 9/15 金 「20世紀からの教訓、21世紀への期待」

今回の講座の結論は、20世紀は私たちにいかなる教訓を与えているか、を整理したうえで、さらに次の世紀にいかなる知恵を託すべきなのか、を考える点にある。1世紀というレンジで歴史を振り返ることで、私たちは新視点や新論点を発見できる。そのことは人類史が世紀ごとにそれぞれ独自の国家像を確立してきたという意味にもなるのだろう。

開催概要	
時間	13:30~15:00
受講料	お支払い
15,000円 (一括のみ)	初回の受付でお支払いください。
資料	
当日講師より配付いたします。	
定員	お申込み締切り
52名	4月3日(月)17時 <small>*下段の「本講座の受講の決定について」をご覧ください</small>
受講票	
4月7日頃の投函を予定しています。	

より理解を深めるための 保阪先生 推奨書籍
『昭和史の核心』 保阪正康著 (PHP研究所/2022)
『迫りくる核リスク (核抑止) を解体する』 吉田文彦著 (岩波書店/2022)
『日本の国益』 小原雅博 (講談社/2018)

### 本講座の受講の決定について (必ずお読みください)

お申込み締切り日を設定しています。締切りまでに定員以上のお申込みをいただいた場合は抽選により決定いたします。

- 受講申込み 締切り4月3日(月)17時
- 抽選結果は、受講生には受講票を、受講いただけない方には結果通知を郵送します。
- 抽選結果のお知らせは4月7日頃の投函を予定しています(多少前後する場合がございます)。



お申込みは、WEBサイトをご活用ください。スマートフォンでQRコードを読み取ると「21世紀の国家戦略と私たちの社会」の申込みフォームに到達します。

# 2023年度春学期同志社講座

お申込み 受付開始 **2023年3月17日(金) 10:00~**

WEB 同志社大学東京オフィス 検索 FAX **03-6228-7262**



スマートフォンからお申込みができます。QRコードを読み取るとお申込みフォームに到達します。

FAX **03-6228-7262**

同封の「受講申込書」をご利用ください。

\*受付開始以前にお申込みを送信されても受付いたしません。開始以前に送信されたものは無効です。ご理解をお願いします。

### 個人情報の取り扱いについて

お申込みの際にご提供いただく個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び本学が定める「個人情報保護の基本方針」、「同志社個人情報保護規程」等に基づき、適正に取り扱います。お預かりした個人情報は、同志社講座ならびに同志社大学からのご案内に利用させていただき、ご本人の同意なく、法令上認められている次の場合を除いて第三者に提供いたしません。

- ご本人の同意を得た場合
- 利用目的の達成に必要な範囲内で、同志社大学の業務委託先(再委託先を含みます)に個人情報の取扱いの全部又は一部を委託することに伴って当該個人情報を提供する場合
- 上記の他、法令に基づき開示、提供することが求められた場合

## 同志社大学 東京オフィス

平日 9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号  
京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階にみずほ銀行があります)

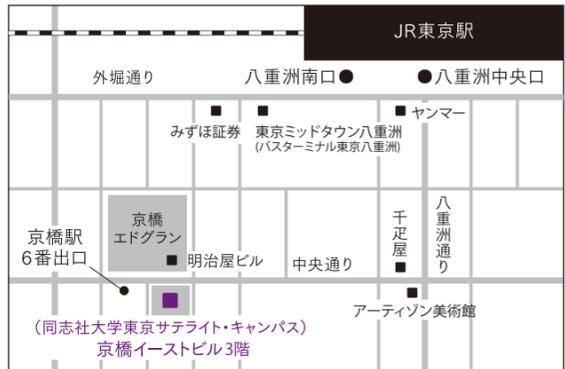
TEL : 03-6228-7260

FAX : 03-6228-7262

E-mail: [ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp)

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/>

同志社大学東京オフィス 検索



- JR 東京駅 八重洲南口 徒歩6分
- 東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 京橋駅 6番出口 徒歩1分
- 都営浅草線 宝町駅 A7番出口 徒歩2分

同志社大学東京サテライト・キャンパスでは、COVID-19感染拡大防止の取り組みを行っています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### ■ 会場での取り組み

- 常時、換気効果が最大になるよう努めています。
- 会場では2人使用のテーブルを1名でご利用いただき、前後に重ならない着席をお願いしています。
- テーブル、椅子、マイクなどの備品は定期的にアルコールで除菌・消毒を行っています。
- 舞台と参加者の間にアクリルパネルを設置しています。

### ■ ご利用される皆様へのお願い

- 消毒液を入口受付付近に設置しています。こまめな手指消毒と手洗いをお願いします。
- 会場マスクを着用してください。咳、くしゃみなどをする際は咳エチケットにご協力ください。
- 体調のすぐれない方はご利用をご遠慮ください。
- 受講時の受付では、ソーシャルディスタンスの維持を心掛けてください。
- 構内での食事はご遠慮ください。



## 源氏物語 「夕顔の巻を読む」

源氏物語54帖の中でも夕顔の巻はとても人気がある、ミステリアスな巻です。たとえば最後まで光源氏と夕顔の君は、互いに素性を明かしません。けれども文章の端々から、二人の人物や環境などが垣間見えます。あからさまには言わないが分かる人には分かる、これは現代の京ことばにも当てはまります。京都人の見方で読み進めてみましょう。



いわつぼ たけし  
岩坪 健 同志社大学  
文学部 教授

文学博士。1957年京都市生まれ。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究-中世源氏学の流れ-」で文学博士。同志社大学宮廷文化研究センター長。受賞歴：1989年「源氏物語の二段階伝授について-河内方と四辻善成-一条兼良をめぐる」で第16回日本古典文学会賞受賞。2014年「源氏物語の享受 注釈・梗概・絵画・華道」で第15回紫式部学術賞を受賞。著書：『光源氏とティータイム』（新典社/2008）『ウラ日本文学-古典文学の舞台裏-』（新典社/2011）『錦絵で楽しむ源氏絵物語』編著（和泉書院/2012）『源氏物語といけばな』（平凡社/2019）『三玉挑事抄』注釈（和泉書院/2019）など多数。

講義日
5/11(木)、6/8(木)、7/13(木)、8/10(木)、9/14(木)

### これからの「夕顔の巻」読みどころ



同志社大学図書館所蔵 源氏御手かゝみ No.6

夕顔の巻全体の四分の一ほど読みましたが、ようやく夕顔の君が現われたばかりです。ですから、それまでの内容を知らずに今学期から参加される方も十分に楽しめます。光源氏と夕顔との蜜月は、あっけなく幕切れとなります。かぐや姫が十五夜に昇天したように、夕顔は名月の翌日、物の怪に取りつかれ急死するからです。息絶える夕顔の君の最期の描写は圧巻です。薄気味悪い雰囲気はそこだけではなく、巻頭から随所に散りばめられています。注意して読んでみましょう。この物の怪の正体は不明で、学会でも定説はありません。最有力候補は六条御息所で、その邸宅には朝顔が植えられています。当時、朝顔は貴族、夕顔は庶民の家に植えられていました。この巻は朝顔と夕顔の争い、とも解釈できます。（岩坪健記）

開催概要	
時間	13:00～14:30
受講料	お支払い
15,000円 (一括のみ)	初回の受付で お支払いください。
教材	※受講の際は必ずご持参ください
武蔵野書院 【校注 源氏物語分巻叢書 夕顔】 中野幸一 編 判型 A5判並製 ISBNコード978-4-8386-0548-4 本体価格 600円 税込価格 660円 *購入は受講生ご自身で書店に注文してください。 *武蔵野書院 HFPから購入できます。 https://www.musashinoshoi.n.co.jp/shoseki.html	
定員	お申し込み締切り
52名	4月4日(火)17時 *この日満席でなければ、引き続きお申込みを受け付けます。
受講票	
4月10日頃の投函を予定しています。	

より理解を深めるための  
**岩坪先生推奨書籍**

『錦絵で楽しむ源氏絵物語』  
岩坪健 編著（和泉書院/2012）

『光源氏とティータイム』  
岩坪健 著（新典社/2008）

『ウラ日本文学 古典文学の舞台裏』  
岩坪健 著（新典社/2011）

## サイエンス 「百人一首 ー女性歌人の和歌と人生ー」

「梅に驚」「紅葉に鹿」など「美の型」に満ちた和歌の世界。いにしへの歌人たちは、そんな表現の型を身につけながら新たな歌を生み出しました。平安朝の女性貴族たちも、それぞれの身分や立場で歌を詠み、人生を送っていたのです。本講座では、彼女たちの頭の中にあった「美の型」をデータサイエンスで解明し、その表現を通して人生に迫ります。



ふくだ ともこ  
福田 智子 同志社大学  
文化情報学部  
教授

福岡女子大学文学部国文学科卒業、九州大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。九州大学大学院人文科学研究院助手、同志社大学文化情報学部専任講師、同准教授を経て、現職。専門は平安文学・和歌文学。和歌文学会、中古文学会、全国大学国語国文学会会員。また、情報科学研究者との共同研究で、文字列解析ツールの開発や和歌のデータベース構築にも取り組む。著作には、『平安中期私家集論-歌人・伝本・表現-』（単著・勉誠出版、2007年）、『恵慶百首全集』『順百首全集』『好忠百首全集』（筑紫平安文学会著、風間書房、2008・2013・2018年）他がある。近年は香道にも興味を持ち、著作『竹幽文庫の香道伝書 香道調度図・香道籙之菊』（共著、淡交社、2020年）を刊行。

開催概要	
時間	13:30～15:00
受講料	お支払い
15,000円 (一括のみ)	初回の受付で お支払いください。
資料	
当日講師より配付いたします。	
定員	お申し込み締切り
52名	4月11日(火)17時 *この日満席でなければ、引き続きお申込みを受け付けます。
受講票	
4月17日頃の投函を予定しています。	

1回 5/15月 「伊勢 ー華麗なる恋の秘訣ー」  
中流貴族の娘として生まれた伊勢は、宇多天皇の中宮温子に仕えた女房です。温子の兄との恋愛はともかく、宇多天皇の寵愛を受けて皇子を生み、さらに宇多天皇の皇子、敦慶親王との間に娘を生みました。『源氏物語』桐壺巻で紀貫之と並び称され、「逢はでこの世を過くしてよとや」と詠んだ人生を、当時の身分制社会を背景に探ります。

2回 6/19月 「紫式部 ー屈折した心のゆくえー」  
『源氏物語』の作者として名高い紫式部。でも、歌人としての名声は、もっと後の時代に、「源氏物語」が和歌詠作の参考書としての地位を獲得するのを待たねばなりません。主導したのは、藤原俊成・定家でした。我が国初の勅撰和歌集『古今和歌集』から約百年、紫式部の心と言葉が紡ぎ出した新たな「美」の世界を紐解きます。

3回 7/10月 「赤染衛門 ー『寝なまし月』の系譜ー」  
実は平兼盛の娘では?という出生の秘密をもつ赤染衛門。とはいえそれは、彼女の優れた和歌の才能を、一流歌人を父にもつことに求めた誰かが言い出したことかもしれません。そんな噂をよそに、良妻賢母の誉れ高い人生を送った彼女の百人一首歌は、「寝なまし月」という句句に縮約され、後世に継承されていくのです。

### 4回 8/21月 「伊勢大輔 ー重代歌人の誇りー」

伊勢大輔は、もともとは伊勢神宮の祭主の家系で、姓は大中臣といえます。曾祖父の頼基、祖父の能宣、父の輔頼と続く、重代の歌人です。中宮彰子にお仕えしましたが、先輩に紫式部がいました。そのとき、紫式部は、新参者の伊勢大輔にどのように接したのでしょうか。そして、伊勢大輔がデビュー戦で感じたプレッシャーとは?

### 5回 9/11月 「式子内親王 ー『忍ぶる恋』の真実ー」

「百人一首」の女性歌人の恋歌は、総じて語気が強いといわれます。式子内親王の歌にもそんな強さがありますが、それは本音なのでしょうか?内親王は生涯独身を貫くのが常だった当時、世情も混乱する中で、心に射す一筋の光明が、藤原俊成に師事した和歌でした。彼女が生涯をかけて獲得した歌人としてのプロ意識に迫ります。

## 視座に学ぶ 「Z世代のアメリカ ーいま・未来ー」

アメリカはいま、政治・外交・社会、さまざまな意味で大きな転換期にあります。1990年代半ば～2000年代に生まれたZ世代にとって、アメリカが強く、豊かだったのは過去の話。若者たちはアメリカの弱さや限界を強烈に認識し、新しいアメリカを求めています。本講義では、新しい世代や価値観が台頭するアメリカのいまと未来を探っていきます。



みまき せいこ  
三牧 聖子 同志社大学院  
グローバル・スタディーズ  
研究科 准教授

東京大学教養学部卒、同大大学院総合文化研究科で博士号取得(学術)。専門は国際関係論、アメリカ外交史。早稲田大学助手、米国ハーバード大学、ジョンス・ホプキンス大学研究員、カーネギー・カウンスル "The Living Legacy of the First World War" プロジェクトフェロー、関西外国語大学助教、高崎経済大学准教授等を経て2022年4月より現職。著書に「戦争適法化運動の時代-「危機の20年」のアメリカ国際関係思想-」（名古屋大学出版会/2014、アメリカ学会清水博賞）、共訳・解説「リベラリズム-失われた歴史と現在」（青土社/2020）、共著「私たちが声を上げるとき-アメリカを変えた10の問い」（集英社/2022）Yahooニュース、朝日新聞コメントター。

開催概要	
時間	18:00～19:30
受講料	お支払い
15,000円 (一括のみ)	初回の受付で お支払いください。
資料	
当日講師より配付いたします。	
定員	お申し込み締切り
52名	4月12日(水)17時 *この日満席でなければ、引き続きお申込みを受け付けます。
受講票	
4月19日頃の投函を予定しています。	

1回 5/18木 「『社会主義がない』国アメリカ？」  
アメリカといえば「資本主義の国」と思う人は多いでしょう。しかしZ世代は、格差をもたらした資本主義に絶望しています。「社会主義と資本主義、どちらに未来があるか?」という問いに、過半数が社会主義と回答する-これが今のアメリカです。既に人口の3割弱を占めるZ世代。彼らの視点からアメリカの現状を理解します。

2回 6/15木 「女性大統領は誕生するのか？」  
2016年大統領選で女性初の大統領を目指したヒラリー・クリントンは、敗北演説で、女性の進出を阻む「高く硬いガラスの天井」が破られる未来への希望を語りました。それから数年後、その期待を託された副大統領カマラ・ハリスの人気は低迷しています。女性の進出を阻む「ガラスの天井」はどうすれば打ち破れるのでしょうか?

3回 7/20木 「アメリカ社会と暴力」  
米国では自殺を含めた銃による死亡者は毎年4万人を超え、特定の属性を持つ人々への憎悪に由来する銃乱射事件も多発しています。銃暴力の増加の背景には何かあるのでしょうか。これほどの犠牲があるのにどうして銃規制が進まないのでしょうか。銃規制を力強く求める新たな世代も紹介しながら、暴力を克服する道を探ります。

### 4回 8/10木 「プーチンとアメリカ」

ロシアのウクライナ侵攻以降、バイデン政権はロシアへの経済制裁やウクライナへの強力な支援を展開してきました。しかし社会に目を移せば、侵攻直前までプーチンへの共感を隠さず、今も公然とは批判しない一定の層が存在します。なぜ彼らはプーチンを支持するのか?民主主義国アメリカに存在するプーチン支持者の実像とは?

### 5回 9/21木 「『盟主』がいなくなる世界と日本の選択」

「アメリカは世界の警察官ではない」(バラク・オバマ)、「私たちは今まであまりにもお人よしに他国を守ってきた」(ドナルド・トランプ)-アメリカはもはや国際秩序の「盟主」として振る舞えるだけの国力を持たないという認識は、アメリカ社会のコンセンサスになりつつあります。世界の未来、そして日本の選択は?

より理解を深めるための  
**三牧先生推奨書籍**

『私たちが声を上げるとき-アメリカを変えた10の問い』  
和泉真澄(著)坂下史子(著)土屋和代(著)三牧聖子(著)吉原真里(著)(集英社/2022)

『「いま」を考えるアメリカ史』  
藤永康政(編著)松原宏之(編著)(ミネルヴァ書房/2022)

『よくわかるアメリカの歴史』  
梅崎透(編著)坂下史子(編著)宮田伊知郎(編著)(ミネルヴァ書房/2021)

## 受講に関するご案内

### お申し込み方法

(注)メール、電話でのお申込みはお受けしていません。

【WEBサイト】  
同志社大学東京オフィスHP>講座のお申込み  
\*スマートフォンからもお申込みができます。



【FAX】  
同封の「受講申込書」をご利用ください。  
\*受講申込書は受付開始以後にお送りください。受付開始前にお送りいただいたものは「無効」といたします。受付開始直後には電話回線が混みFAXが届きにくくなるケースがあります。可能な限りWEBサイトからお申込みください。

### お申込み受付・受講確定

各講座にお申し込み締切り日を設定しています。該当日までに定員以上のお申込みがあった場合は、抽選を行い、受講生を決定します。

お申込み締切り日は、各講座の開催概要欄でご確認ください。抽選結果は受講生には受講票を、受講しただけの方には結果通知を郵送します。該当の締切り日に満席でない場合は、満席になるまで受付いたします。(注)欠員待ちは行っておりません。

### 受講料のお支払い

■ 受講料は初回の受付でお支払いください。  
■ 各講座とも受講料は全回分(一括)です。  
■ 会場受付でのお支払いは現金のみです。  
■ いったん納入された受講料は返還いたしませんのでご注意ください。

■ 初回をオンライン形式で受講される場合は、事前振り込みが必要です。該当の方には、別途ご案内を差し上げます。

### キャンセル

お申込み後に受講を取りやめたい場合は、同志社大学東京オフィスに電話にてお知らせください。

### 修了証

受講の講座を全回出席された方に修了証をお渡しいたします。

### 教材

講師指定の教材(書籍など)を各自でご用意いただく場合があります。講座の開催概要欄でご確認ください。

### 欠席

ご欠席の連絡は不要です。

### オンデマンド(ビデオ録画データ)による受講について

同志社講座は、同志社大学東京サテライト・キャンパスにおいて対面形式で開講いたします。ただし、不測の事態の際にオンライン形式に変更する場合があります。また、受講生のご事情によりオンライン形式をご希望される場合は「オンデマンド受講」でご受講いただけます。

■ **オンデマンド受講について**  
オンデマンド受講とは、会場での講義を録画し後日に受講用のURLと配付資料をメールにてお送りするものです。講座日に会場に来ることができない場合にご利用ください。

■ **オンデマンド受講に関するご注意**  
受講にはパソコンやタブレット、スマートフォンなどが必要です。

※機器はインターネットに接続されている必要があります。  
※同志社大学東京オフィスでは、機器の貸出しや技術支援はできません。ご了承ください。  
オンデマンド受講用のURLは第三者に共有しないでください。講義の録画・録音は禁止です。

■ **オンデマンド受講を希望される場合のご連絡**  
初回をオンデマンドで受講されたい場合は、お申込み時にお申し出ください。受講料の事前振り込みをご案内いたします。  
2回目以降は該当講座の3日前(休業日を除く)までにご連絡ください。該当講座日の翌日以降(休業日を除く)にオンデマンド受講用のURLと配付資料をメールにてお送りします。